

80 周年／ご挨拶

令和 8 年 5 月 2 日
光山電気工業株式会社
代表取締役社長 丸山公明

お陰をもちまして、光山電気工業株式会社は、創立 80 周年を迎えることができました。これもひとえに お取引先各社をはじめといたしまして、ご協力を賜りました皆様、地域の皆様、株主の皆様のご指導ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

戦時中、日本電気株式会社の疎開工場であった前身は、終戦の翌年 1946 年（昭和 21 年）に、先代の小淵光平氏と日本電気株式会社の技術者 皆谷孝二氏を中心に、光山電気工業株式会社としてトランス・コイルの巻線工場を発足いたしました。これが 80 年前の光山電気工業株式会社の始まりにあたります。

電話の普及に伴いトランス・コイルの需要が高まる中、業績は年々向上いたしました。1957 年（昭和 32 年）には信号機器の大手、日本信号株式会社とも取引を開始し、日本の戦後復興を象徴する通信インフラと交通インフラの充実に事業を結び付け、社是に掲げる「文化生活の向上」に資するものとなりました。

1970 年（昭和 45 年）には日本電気株式会社より、当時最先端の半導体関連製品「HIC 厚膜混成集積回路」の導入を受け、その後日本電気株式会社の代理店として、商品販売 及び OA 機器向け「磁気記録製品の生産」などを手掛け、1988 年（昭和 63 年）には海外に生産拠点を拡大させ、従業員総数が 1,000 名を超えるまで成長いたしました。

しかし 2000 年（平成 12 年）以降、海外企業の台頭等により日本国内の半導体生産は減少し、光山電気の半導体・磁気記録製品の受注も減少いたしました。

コイル・トランス、鉄道・交通用信号用機器、各種産業用機器・各種デバイスに生産を移行し 2010 年 JAXA(宇宙航空研究開発機構)より『宇宙用集積回路組立作業』の認定を受けるとともに産業用 HIC・COB・TAG・SENSOR・PWB 類の製造、各種（ICT・社会インフラ・無線等）ソリューション構築に取り組んで参りました。

これからの光山電気工業株式会社は、イノベーションによる新しいものづくりを目指し、社会から喜ばれる製品を第一に考え、常に先を見据え、光山電気ならではの価値を創出して成長してまいります。